



宮司プレス 第二百二号

彦島八幡宮 宮司ニユース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 令和五年六月二十一日

◇宮司の柴田です。お待たせしました、宮司プレス二百二号の発行です。宮司就任一年目を期して発行を始めましたが、先月で九十七年、今月で十八年目を迎えます。遅れの累積は、相変わらずの三号です。今年中には、キャッチアップ、追いつきたいものです。

◇六月は別名、水無月といひます。なぜ、水無月というのでしょうか。水が無いから水無月なのではありません。むしろ、その逆で、水無月の無は、古語の連体助詞の「な」ですから、現代語に訳しますと、「の」に当たることばです。したがって、水の月という意味なのです。また、田植への行事が無事にすみ「皆仕戻した」、「みなしつくしづき」から転じて「みなづき」になったなど諸説あります。

◇さて、今日は、夏至です。夏至は、二十四節気の一つで、北半球の昼が最も長くなり、反対に夜が最も短くなります。つまり、夏至は、夏季の真中にあたり、梅雨の真つ盛りで、しとしとと長雨が続きます。農家の方は、田植への繁忙を極める季節でもあります。宮司プレス既刊号にも記述したことがあります、論語

に、「五日一風 十日一雨」とあります。五日に一回、清らかな風が吹いて、十日に一回、しとしととした雨が降ること、転じて、天下泰平のことでもあります。しかしながら、異常気象の多発に関係するといわれるエルニーニョ現象が、熱帯太平洋でほぼ四年ぶりに発生したそうです。今後、海面水温が東側でかなり高くなり、冬にかけて強力な「スーパーエルニーニョ」に成長する公算が高くなります。日本への影響は複雑で、西日本などでは、このエルニーニョ現象が起きると、低温・多雨になりがちだそうですし、台風は東にずれ、充分な熱補給を受けながら長距離を進んでくる結果、日本に強い勢力で近づきやすくなるそうです。しかも、最近まで、その逆のラニーニャ現象が起きていたため、夏にかけてその影響が残る見通しで、これらを考慮に入れると、日本は、冷夏というよりも、むしろ暑い夏が予想されるのだそうです。ちなみに、スペイン語で、神の子キリスト、男の子を意味するのが、エルニーニョで、女の子を意味するのが、ラニーニャなのです。男の子と女の子の気まぐれに左右されるのが、世界の天候、たともいえるわけですね。

この異常気象は、豪雨などの極端気象が増えたり、エネルギー需給が逼迫したり、はたまた、世界経済の成長率を押し下げる要因となったりして、懸念されることばかりです。進みすぎた文化文明が、大自然の正しい循環を邪魔して、阻害する事によってもたらされた宿命的な危機や複合的な危機に直面しているといえるのではないのでしょうか。環境の問題に限っては、「ポイント オブ ノーリターン」、もう後には戻れないところまで迫っています。全世界の人類の英知を集めなければならぬ状況です。◇その進みすぎた文化というものは、動物の社会には、存在せず、人間のみが持ち得るものです。その文化には、二種類ありまして「頭の文化」と「心の文化」なのです。頭の文化とは、車やコンピュータ、今はやりのAIなどの技術によって暮らしが便利になることです。心の文化は、音楽や宗教など、情操教育、人の心を豊かにするものといえるでしょう。頭の文化は目に見えて、便利さを体感し、その利益を享受しやすいため、この頭の文化ばかりが重視されてきました。ポイント オブ ノーリターンを招いたといっても過言ではありません。そうであればこそ、心の文化こそ、大事に見直さ

なければならぬのではないのでしょうか。

大自然の恵に感謝し、神様や祖先を尊び、そして今を生かされて生きている事におかげさまという気持ちを大切に、自然と共に、神様祖先と共に、そして、家族や地域の人々と共に生きていくのが神社神道であります。

まさに、「共尊共生共栄」の地域社会の構築こそ、神社神道の目指す理想社会でもあり、それこそが日本人の心の文化ではないでしょうか。

◇ 渠成りて水到る、これは中国の故事です。渠とは大きな溝の事でありますが、昔大きな溝を作ったけれどもなかなか水が流れてこない、ある日大雨が降ったら、乾いた田を美田にかえるような、滔々とした清らかな水の流りが出来たという意味です。日本人の心の文化を忘れずに、日々の暮らしをいとなみ、清らかな水の流れをつくりたいものです。水無月ですから。御自愛ください。

◇六月の祭典行事報告(予定も含む)
▼月次祭 *六月一日、十五日



▼貴布祢神社月次祭 *六月一日
▼貴布祢稻荷神社例祭



▼恵比須神社例祭



▼大祓式 *六月三十日

◇六月の宮司動静(予定も含む)

▼神社関係団体

□敬神婦人会総会 *六月四日

※総会終了後、講演



□維蘇志会奉仕作業 *六月十八日



□奉賛会総会 *六月二十四日

□行事委員会至茅の輪奉製作業*六月二十九日

▼神社庁関係

□初任神職研修にて「神社本庁史」を五時間講義 *六月二日

□神社庁役員会 *六月六日

□祭典後講話研修会にて指導講師

*六月九日、田布施町、高松八幡宮

□山口県敬神婦人連合会総会

*六月十二日

□下関支部幹事会 *六月十三日

□定例協議員会 *六月十六日

□神道史研究会役員会 *六月二十八日

自治会、学校関係

□迫町自治会クリーン作戦 *六月十一日

□西山校区統廃合説明会*六月二十二日

▼講演活動

□阿北分会総代会総会 *六月二十五日

▼その他

□社会福祉法人あーす評議員会*六月二十日

□社会福祉法人松美会評議員会*六月二十一日

□西中国信用金庫総代会 *六月二十七日

□西中国信用金庫総代会 *六月二十七日